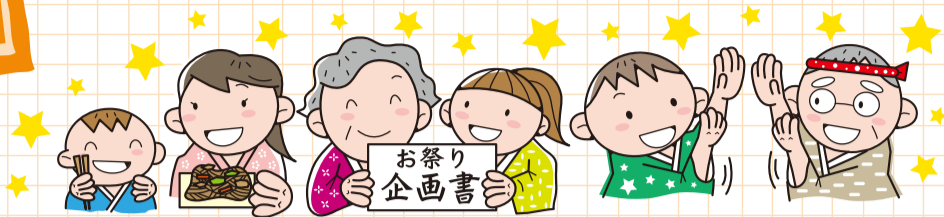


## 特集 知恵と工夫でつながりあう

1

区社協、共同募金会からのお知らせ  
ボランティア情報、編集後記

2



日本人はお祭りが大好き！今年も地域を愛する人たちが、ほどがやの祭りを盛り上げました。踊る人や神輿を担ぐ人、そして準備、企画する人、祭りには大勢の人の力が必要です。そして祭りをきっかけに、地域でつながる人も大勢います。祭りを実施するための工夫や知恵を伺いました。

# 知恵と工夫でつながりあう

## 上菅田自治会の祭り

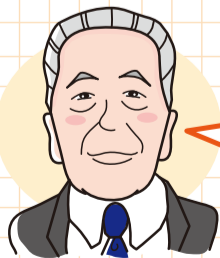
### 開催日の固定と重層的な役割分担

上菅田はもともと農村だったところに、宅地開発が進んだ場所です。今も農地が残っていますが、徐々に戸建て住宅が建ち、若い人たちも増えています。もとの住民と、新しい人たちが混在している上菅田自治会では、多様な方たちに地域に親んでもらおうと、地域性を生かした「収穫感謝祭り」をはじめ、バラエティに富んだ祭りを実施しています。

中でも盆踊りは毎年盛り上がり、今年も大盛況でした。必ず8月14、15日に開催されるので、独立した人々も帰省しやすく、子連れで参加してくれます。櫓を組み立てるのは、毎年若い人たちが担いますが、「声をかけると、腕に自信のある人が集まってくる。交通整理に困るぐらい」（松野会長）というから、羨ましい話です。どんな工夫や知恵があるのでしょうか？

上菅田自治会の盆踊りは、福利厚生部中心の実行委員会が主催し、内容を決めます。一方、女性部が接待を担うなど、自治会の部もそれぞれ得意な部分を担います。重層的な役割分担の仕組みは、参加しやすい雰囲気づくりにつながっています。でも、作業は楽しくなくては続きません。櫓づくりも、腕の見せ場と張り切る人たち、帰省する人たちの久しぶりの出会いや、一年に一度の共同作業が楽しみになっていて、若い人が自然に集まってくるのでしょう。

盆踊りなどの地域イベントに参加した若い人たちが、徐々に地域活動の担い手になっています。



役員になって、というと嫌がる人でも、この仕事をお願い、と頼むと喜んでやってくれる人が結構多いものだよ（松野会長）

会長の「お願い」もまた、工夫の一つですね。

## 新桜ヶ丘自治会の祭り

### ボランティアが活躍する祭礼会

1970年に造成がはじまった住宅地もそろそろ50年になりますが、新しい住宅地なので、伝統的な行事はありませんでした。でも、何もなかったからこそ、「子どもたちのふるさとづくり、健全育成のために、祭りをしたい」という祭り好きの人たちが集まり、祭礼会を構成し、地域の「おまつり」をつくりあげました。

祭礼会はまず大人のための神輿をつくり、次に山車、「子供みこし」と、徐々に充実していきました。大人神輿も「子供みこし」も手作りですが、「子供みこし」は毎年、世相を反映したキャラクター神輿を作ります。子供会が自分たちで企画し、祭礼会のサポートを受けて、つくりたい神輿を実現できるので、毎年多くの子どもたちがすすんで参加します。

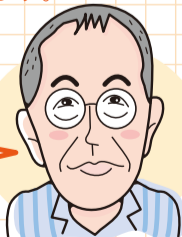


子どもたちが作ったキャラクター神輿

祭礼会は自治会の一組織ではありますが、手を挙げた人たちから構成される全くのボランティアグループで、「おまつり」の企画・運営を担います。神輿、山車の製作や維持にかかる経費は、区民まつりなど地域のイベントに焼きそばを出店し、捻出しています。「焼きそばを買うために、区民まつり行く」という支援者もいるほど。祭礼会の中には、転居してからも「祭りには参加したい」と新桜ヶ丘に通う人もいます。自発的なグループの醸し出す雰囲気が、転居後も参加したい気持ちを生み出しているのでしょうか？

祭礼会が一番うれしいのは、「ここで育った子が、祭りには自分の子どもを連れて帰ってきてくれること」。自分が神輿をかついで、山車を引っ張った楽しさを我が子にも体験させたいと、子どもと共に祭りに参加します。すると、「孫が参加させてもらうのだから」と祖父母のボランティアも集まる、という良い循環が生まれています。

作業に参加してくれる人だけでなく、積極的に焼きそばを買うことで協力をしてくれる人たちもボランティア。ここを自分の居場所だと思って地域に貢献してくれている（吉田会長）



祭りによって、住む人が担い手となり、地域への愛着を増えています。

## 西久保町公園盆踊り大会

### 地域連携での開催

西久保町は近年高層マンションが多く建ち、それぞれに自治会があります。でも、新しい自治会で、盆踊りなどのイベントを実施するのは大変です。そこで、「公園を中心にして繋がり、地域に愛着をもてばいい、連携しようよと声をかけた」（高橋元西久保町東部自治会会長）。4つの自治会と公園愛護会の5者で、「西久保町公園盆踊り実行委員会」が構成されました。自治会の役員は毎年交代しますが、実行委員会には残ってくれる人もいて、スムーズに継続できています。ゴミの分別のように各自治会が責任を持つ部分もありますが、スペースのある自治会が櫓を置く場所を提供するなど、それぞれできることを持ち寄ります。

一方、子ども会中心の太鼓、踊りは合同で練習します。太鼓と踊りの指導者は今は転居した元の住民で、仕事帰りに西久保町に通ってきます。子ども会がつくる手書きのボンボリは西久保町公園盆踊りの特色でもあります。

西久保町には外国人居住者が多く、外国籍の人たちも楽しく参加できるようにと、婦人会が着付けのお手伝いをすることもありました。また、和布会、という年配のグループは毎年布わらじをつくり、その販売収益の一部はお祭りに使われています。

マンションだけに、転居していく人も多いのですが、



巣立って行く人にとっても、西久保町って良いところだったな〜って思ってもらえれば（宮司現西久保町東部自治会会長）

というように、さまざまな人々を巻き込みつつ無理なく役割分担し、19回目の盆踊りに結びついています。



ご紹介した3地区に限らず、地域が力を合わせて盆踊りや秋祭りなどを企画実施している地区はたくさんあります。運営の仕方は違っても、共通するのは「独立した子どもたちが家族を連れて帰ってきてくれる」ことや「地域のみんなが持っている自分たちの力を合わせて作り上げる」ことです。盆踊りや祭りが地域のみんながつなぎ、老若男女ハンディのある方ない方、みんなが参加できる場にするための「知恵と工夫」いかがでしたか？来年的お祭りも楽しみですね。

## 誰もが地域のサポーター 世帯賛助会費へご協力ください！

保土ヶ谷区社会福祉協議会（区社協）は、誰もが住みなれた地域で自分らしく暮らせる地域づくりのために行われる、地域のさまざまな福祉活動に対して支援を行っています。

支援活動のための資金のひとつとして、本会の活動にご賛同いただける区内にお住まいの方からの世帯賛助会費を募集しています。

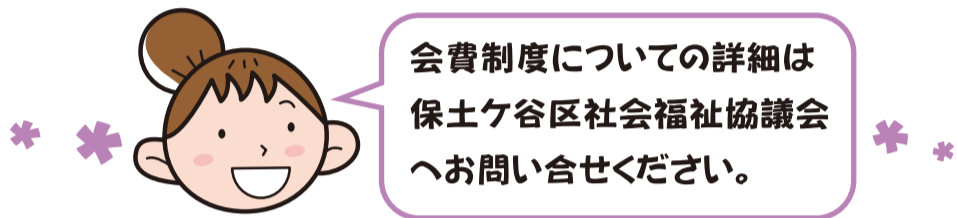
### 集まった世帯賛助会費はどう使っているの？

ご協力いただいた会費は、区内 22 の地区社会福祉協議会を通じて、高齢者向けのデイサービス、会食、子育てサロン、障がいのある方との交流など、地域の福祉活動を行うために広く活用されています。

また、区社協が行う福祉向上のための事業（外出支援・権利擁護・保土ヶ谷区ふれあい助成金等）の活動費としても活用させていただいています。

### どうやって募集しているの？

毎年 11 月～2 月末までの期間に自治会町内会を通じて、区内各世帯にご協力をお願いしています。



## 障がい者週間キャンペーンを実施します！

毎年、12月3日から9日までは「障害者週間」です。保土ヶ谷区では、障害者週間に障がいや障がい者に対する関心や理解を深めてもらうために「障がい者週間キャンペーン」として街頭での啓発活動を行っています。

平成 29 年度は 12 月 4 日に当事者団体、福祉施設の利用者・職員、ボランティア団体、帷子小学校 3 年生の児童が参加し PR 活動を実施しました。

今年度も実施予定です。ご協力の程、よろしくお願いいたします。



## 共同募金会保土ヶ谷区支会からのお知らせ

### 10月1日から「赤い羽根共同募金」がはじまります。

皆さまから寄せられた募金は、ボランティア団体等を支える「保土ヶ谷区ふれあい助成金」や、障がい者施設・社会福祉施設の備品購入等を支える貴重な財源となります。ご協力よろしくお願いいたします。

詳しくは赤い羽根データベース「はねっと」

<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do> をご覧ください。

### ～配分金を活用している団体のご紹介～

NPO 法人横浜市精神障がい者就労支援事業会  
ワークショップメンバーズより～ありがとうメッセージ～

障がい者の工賃単価アップを目指し 3 年前から印刷業務を開始。しかし、車両を持ち合わせていないため納品では苦労の連続。また、大口の依頼では車両がないことを理由にあきらめなくてはならないことも多く限界を感じていました。この度、皆様のご寄付により車両を導入することができ、今は期待に胸を膨らませています。今後、この車両が街を駆け巡り、障がいのある人たちも含め、誰もが生きがいや働きがいのある社会をめざし貢献していきたいと思えます。本当にありがとうございました。



## 区社協からのお知らせ

### ほっとなまちづくりフォーラム～第 36 回保土ヶ谷区社会福祉大会～

区内における地域福祉活動などに功績のあった方々の表彰や、障がいのある方たちと一緒に進める地域づくりをテーマに講演・シンポジウムを行います。また、地域の障がい者団体等による福祉作品展や福祉バザーも開催します。多くの方のご来場をお待ちしています。

日時 平成 30 年 12 月 22 日（土）

作品展・福祉バザー 11:00～16:00

表彰式典・フォーラム 13:00～15:30

場所 保土ヶ谷公会堂（相鉄線「星川駅」北口より徒歩 5 分）

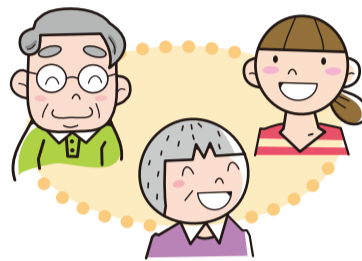


### 保土ヶ谷区ふれあい助成金 新規立ち上げ団体受付中！

区内でのボランティア活動、市民活動や障がい当事者活動等の立ち上げに関するご相談を受け付けております。詳しくはお問い合わせ下さい。

保土ヶ谷区ふれあい助成金 新規立ち上げ資金相談期間

平成 30 年 12 月 28 日（金）まで、月～金 9:00～17:15



平成 30 年度保土ヶ谷区ふれあい助成金報告  
申請数：168 件  
助成金額：12,685,000 円  
（平成 30 年 4 月 28 日現在）

保土ヶ谷区ふれあい助成金は世帯賛助会費・赤い羽根共同募金等を財源として運営しています。

### 今年度新たに立ち上がった団体をご紹介します！ キーボード音楽隊

地域に暮らす高齢の方や障がいのある方と、歌やキーボード演奏を通じた交流サロンを開催しています。地域のサロンや施設で行うレクリエーションにもご協力いたします。

活動場所：西久保町公園ハイツ集会所

保土ヶ谷地区センター

活動日時：毎月第 2・4 金曜日 10:00～11:30



キーボード音楽隊の練習の様子

そうだ！ボランティアしよう！！

## ボランティアセンター情報

●開館 9:00～17:00  
（日・祝・年末年始は休館）

☎ 332-2412 FAX 334-5805 メールアドレス [v@shakyohodogaya.jp](mailto:v@shakyohodogaya.jp)

場所	内容	活動日時
常盤台 介護老人福祉施設スカイ	書道の指導	第 2・4 木曜 13:15～14:30 ※交通費実費支給、曜日応相談
保土ヶ谷町 グループホーム若草の丘	高齢者余暇支援 （音楽演奏・軽いストレッチなど）	14:00～15:00 ※曜日応相談
上星川 地域作業所 with ゆう	昼食作り （利用者と一緒に食材の買い物から）	月・水・金 9:30～13:00 ※謝金：1 回につき 1,000 円
帷子町 地域作業所トラック	ホームページ更新の手伝い	月 1～2 回 3 時間（日時は応相談）
	販売の手伝い	月～金 10:00～16:00 のうち 半日から ※謝金：1,000 円/3 時間以上

※内容・活動時間は変更になることがあります。どうぞご了承ください。

## 編集後記

祭りの中で夏の盆踊りを中心に紹介しました。

老若男女が集いやすい場所ですね。次世代に継承していく工夫もあります。身近なお祭りに足を運んでみませんか。

編集委員副委員長 菅沼久美子

\*この広報紙は共同募金の配分金を活用して発行しています。

\*この広報紙のデジ版を、保土ヶ谷録音グループ「はし」の協力により発行しています。ご希望の方は保土ヶ谷区社会福祉協議会までご連絡ください。

編集委員 中井 友美子（委員長）、菅沼 久美子（副委員長）、岩淵 夫己子、根本 和治、中村 好美、大久保 節子、菊池 明子、大塚 威英

